

# 領域代表の挨拶

領域代表者  
東京大学・大学院新領域創成科学研究科  
岡田真人

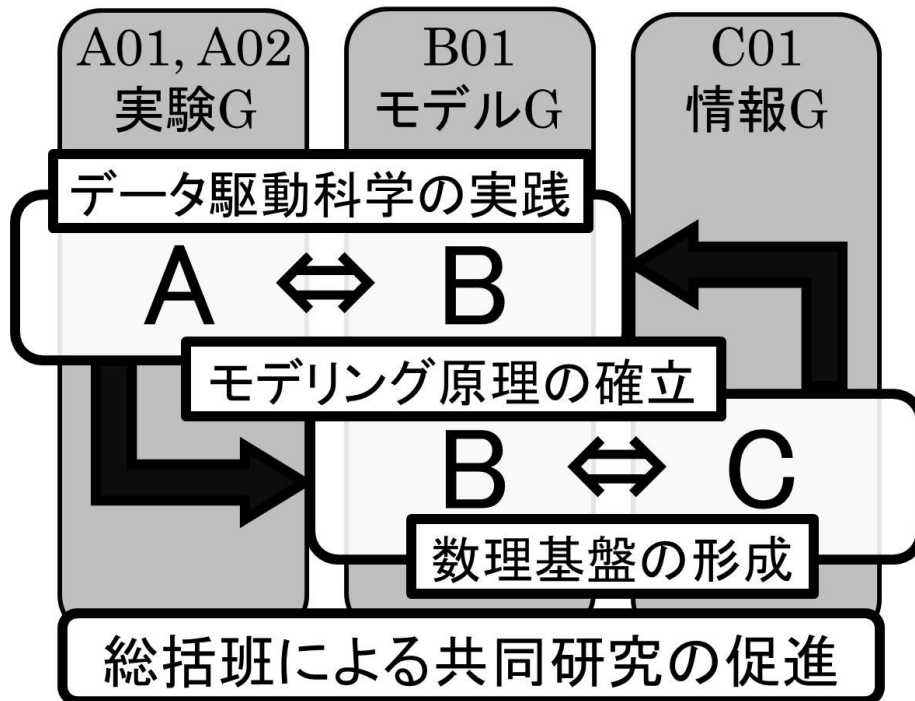
# はじめに

- 公募班の先生方，興味深いご講演をありがとうございました
- 15分/5分という短い公演時間申し訳ありませんでした
- これも沢山の公募班の先生方が講演してくださったからです。ありがとうございます。
- 公募班の先生方の中には，プロジェクト採択時にはPD/助教で，現在は教授という方が多くおられます
- これもデータ駆動科学の威力の一つだと考えています

# データ駆動科学とキャリアアップ

- 定員削減の中、新ポジションは1名の場合がほとんど
- 学科/専攻の研究分野のバランスから特定の分野の教員を取らない場合がある
- そのような際に、横串展開が可能なデータ駆動科学に白羽の矢が立つ場合がある
- 公募班のキャリアアップの中にはそのような例がある
- データ駆動科学普及の戦略

# 公募研究の方針 若手人材の育成



実験G (A01,A02)

- ・各計画研究の近隣分野から公募
- ・分野内で高次元データ駆動科学を展開

モデルG(B01)

- ・物理学, 化学, 人文社会学など, 実験Gの計画研究以外の分野へ高次元データ駆動科学の展開を目指す.

情報G(C01)

- ・スパースモデリングに関する数理的および情報科学的基盤の確立を担う研究者を公募

- ・ 予算規模 (合計件数:30件)
  - 300万円 × 10件程度 = 3,000万円(実験・計測G(A01,A02))
  - 300万円 × 5件程度 = 1,500万円(モデルG(B01))
  - 200万円 × 15件程度 = 3,000万円(情報G(C01))

# データ駆動科学による横串展開

- 物理学, 化学, 人文社会学など, 実験Gの計画研究以外の分野へ高次元データ駆動科学の展開を目指す.
- 心理学者市川先生@東京理科大と地球科学者桑谷先生が同じ会議に出席
- 全状態型SpMの論文は市川先生の方が先
- 分野の壁を取り去り, 知識伝播の速度をあげる
- データ駆動科学による横串展開の効果

# 全体を通して

- 5年間の成果が見て取れる, 素晴らし発表ばかりでした
- 西本先生, 松本先生, 福水先生, 樺島先生のご発表を拝聴して以下のようなことを思いました
  - DCNN+完全結合層やDCNN+連想記憶モデルのようなアーキテクチャを画像から学習できないか?
  - 視覚野そのものが画像の事前分布という仮説
  - 久しぶりに脳科学と機械学習の境界領域の仮説で興奮しました
  - 興味のある学生さん募集中

# 最後に

- あと4年で定年します。
- 4年後にも, このようなシンポジウムを開いていただきたいと希望しています。